

国立大学法人 長岡技術科学大学
平成 27 年度第 1 回経営協議会議事要旨

日 時 平成27年 6 月25日（木）14時00分～15時45分
場 所 長岡技術科学大学マルチメディアセンター
出席者 新原議長、縣委員、大貝委員、岡田委員、合田委員、五味委員、相岡委員、山崎委員、
武藤委員、東委員、菅野委員、三上委員、中出委員（議事の表決の委任による出席 池
田委員、岸委員、森委員）
欠席者 小畑委員、齋藤委員
陪席者 齋藤監事、滝上監事、福田附属図書館長、高橋長岡市地域政策監
事務局 総務部長、学長戦略課長、総務課長、人事・労務室長、財務課長、施設課長、財務課
副課長、総務課課長補佐、財務課課長補佐、学長戦略課経営企画係長、総務課総務係
長、人事・労務室人事係長、財務課主計係長、財務課主計係主任、総務課総務係員

議事に先立ち、議長から平成 26 年度第 5 回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1 平成 26 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

武藤委員から資料 1 に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- クロスアポイントを実施する際、企業と大学との給与格差、年金関係等の問題をどのように解消したか。
- クロスアポイントを実施する際の給与は年俸制とし、勤務割合に応じた給与相当額及び費用を相手側に支払い、給与支払いや年金関係は相手側で一括処理する契約としている。

2 第 3 期中期目標・中期計画について

武藤委員から資料 2 に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- クロスアポイントメントの割合、年俸制、女性教職員の採用及び管理職への登用等、高い数値目標数が上がっているが、具体的な達成の見通しはあるか。
- スーパーグローバル事業で掲げた数値目標と関連しており、これらによる各種取組で達成可能と考えている。
- 強みとなる研究分野を中心に世界の技術科学を先導するとしているが、この研究分野は材料科学、制御システム、グリーンテクノロジーという理解でよいか。
- 材料科学、制御システム、グリーンテクノロジーがミッションの再定義においても本学の強みとして認識されており、これらの分野を中心として融合的に新たな分野を切り拓いていく計画である。

3 役員報酬規則の改正について

菅野委員から資料3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 平成26年度決算について

菅野委員から資料4-1から4-4に基づき説明があった。

引き続き、滝上監事から資料4-5に基づき、会計監査人及び監事による監査を実施した結果、財務諸表等について適正なものだと認めた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。

5 平成28年度概算要求について

菅野委員から資料5-1及び5-2に基づき説明があった。

また、運営費交付金の概算要求については現在文部科学省と調整中のもので、若干の修正等については、学長に一任願いたい旨の説明が併せてあり、これを了承した上で審議の結果、本件を承認した。

報告事項

1 学長予定者の選考結果について

議長から平成27年6月9日に開催された学長選考会議における学長予定者の選考結果について、東信彦理事・副学長が選出された旨、選考経過と併せて報告があった。

2 第2期中期目標の変更の提示及び中期計画の変更の認可について

武藤委員から資料6に基づき、報告があった。

3 国立大学法人長岡技術科学大学の業務方法書の変更の認可について

武藤委員から資料7に基づき、報告があった。

4 会計監査人の選任について

菅野委員から資料8に基づき、報告があった。

5 資金運用実績について

菅野委員から資料9に基づき、報告があった。